

医療行動科学 1

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）

学修目標 (GIO)	<p>歯科医学を学び、6年間の学習を終えて歯科医師になろうとする学生に対し、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科学生たる自覚を持ち、自らが目指す歯科医学・歯科医療の概略を理解する。 2. 本学における教育理念に基づいた6年間の学習の到達目標を理解する。 3. これから学習する歯科医学・医療がどのような意味を持つか、その概略を提示し学習の動機付けを図る。 4. 歯科医師としてのあるべき姿と社会的責任の重みを知り、その自覚を形成する。 5. 自己の歯科医師としての将来像を考える契機として、本学付属病院や開業医での見学体験から歯科医療の一端を認識する。
担当教員	川良 美佐雄、伊藤 孝訓、福本 雅彦、金田 隆、加藤 仁夫、葛西 一貴、清水 武彦、野本 たかと、平山 聡司、松島 潔、小方 頼昌、※清野 宏、河相 安彦、小林 平、小見山 道、近藤 壽郎、長濱 文雄、渋谷 鑛、山口 秀紀、卯田 昭夫、浅野 隆、黒木 俊一、鈴木 浩司、飯田 崇、牧村 英樹、淵上 真奈
教科書	
評価方法 (EV)	<p>講義：授業時間内に行う平常試験・小テスト（60%）、制作物・体験レポート（30%）、受講態度（10%）をもって総合評価（最終評価）する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席をすることが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	本授業は、知識の暗記でなく、講義を通じて提示・示唆されたものを自分なりに考え会得するものである。将来の歯科医師像を心に描き、目的意識を持って学習に励むこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/13 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/04/13 (水) 1時限 09:00～10:30 B	<p>オリエンテーション</p> <p>松戸歯学部 の教育 理念、教育概要</p> <p>プロフェッショナル リズム①</p> <p>振替日： 6月8日（水）2 時限</p>	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェッショナルリズムを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 2. 医療職プロフェッションを説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 <p>【準備学修項目】 自己の活動を振り返る大切さを説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 パソコン</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	川良 美佐雄 伊藤 孝訓
2016/04/20 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/04/20 (水) 1時限 09:00～10:30 B	<p>プロフェッショナル リズム②</p> <p>振替日： 6月15日（水） 1時限</p>	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェッショナルリズムを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信頼できる社会人・医療人について説明できる。 2. 専門職プロフェッションを説明できる。 <p>【準備学修項目】 プロフェッショナルリズムを説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 パソコン</p>	伊藤 孝訓 川良 美佐雄 浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/20 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/04/20 (水) 1時限 09:00～10:30 B	プロフェッショナル リズム② 振替日： 6月15日(水) 1時限	<p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 川良 美佐雄 浅野 隆
2016/04/27 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/04/27 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性① 振替日： 6月15日(水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科医学の専門分科について説明できる。 2. 臨床歯科医学の臨床検査医学、放射線学、口腔インプラント学について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 医学の専門について説明できる。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 イ 検査の安全 b 実施(必要性)の説明 オ 画像検査 a エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査) 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 F 臨床実習 F-3 画像検査 ①放射線検査の必要性について説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 *②デンタルインプラントの基本構造を説明できる。</p>	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 福本 雅彦 金田 隆 加藤 仁夫 浅野 隆
2016/05/11 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/11 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性② 振替日： 6月22日(水) 1時限	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科医学の専門分科について説明できる。 2. 臨床歯科医学の歯科矯正学、小児歯科学、障害者歯科学について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 医学の専門について説明できる。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 葛西 一貴 清水 武彦 野本 たかと 浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/11 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/11 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性② 振替日： 6月22日(水) 1時限	必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 1 不正咬合の治療 ア 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 イ 永久歯列期の不正咬合の治療 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患 ア 乳歯齲蝕 イ 幼若永久歯齲蝕 ウ 齲蝕のリスクファクター 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 5 摂食・嚥下機能 ア 摂食・嚥下機能の加齢変化 1 6 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 a 身体所見 e 歯科のアプローチ 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した治療を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 葛西 一貴 清水 武彦 野本 たかと 浅野 隆
2016/05/18 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/18 (水) 1時限 09:00～10:30 B	体験学習①患者体 験/歯科検診 振替日： 4月23日(土) 9:30～11:30 休講 振替日： 6月22日(水) 2時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェ ッショナルリズムを理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療を専門とする職業人について説明できる。 2. 医療職プロフェッションを説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 【準備学修項目】 自己の活動を振り返る大切さを説明できる。 【学修場所・媒体等】 後日指示する。 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【 患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 小見山 道 山口 秀紀 卯田 昭夫 黒木 俊一 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 牧村 英樹 澁上 真奈
2016/05/25 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/25 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性③ 振替日： 6月29日(水) 1時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学 の専門性を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科医学の専門分科について説明できる。 2. 臨床歯科医学の保存修復学、歯内療法学、歯周治療学について説明できる。 【準備学修項目】 医学の専門について説明できる。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 平山 聡司 松島 潔 小方 頼昌 浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/25 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/05/25 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性③ 振替日： 6月29日(水) 1時限	イ 永久歯の直接修復法 オ 象牙質・歯髄保護法 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 エ 歯周外科治療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 平山 聡司 松島 潔 小方 頼昌 浅野 隆
2016/06/01 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/01 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学における 研究 振替日： 6月29日(水) 2時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の研究マインドを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 研究は患者に施行する治療の根拠となることを説明できる。 2. 研究は歯学の発展と患者の利益になることを説明できる。 3. 研究は患者を対象とした場合、同意を得ることの必要性を説明できる。 4. EBD (エビデンスベースドデンティストリー) を説明できる。 【準備学修項目】 歯学における研究のもたらす役割を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 b 臨床研究、医学研究の倫理指針 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-2) 研究マインドの涵養 ①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 ②生命科学の講義・実習で得た知識をもとに、診療で経験した病態の解析ができる。 ③患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげることができる。 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に参加することができる。	川良 美佐雄 清野 宏
2016/06/08 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/08 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性④ 振替日： 7月6日(水) 1時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の専門性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学の専門分科について説明できる。 2. 臨床歯科医学の有床義歯補綴学、クラウンブリッジ補綴学、顎口腔機能治療学について説明できる。 【準備学修項目】 医学の専門について説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 キ プラキシズム ク 睡眠時無呼吸症候群 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 河相 安彦 小林 平 小見山 道 浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/08 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/08 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性④ 振替日： 7月6日(水) 1時限	エ 審美障害 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 河相 安彦 小林 平 小見山 道 浅野 隆
2016/06/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業歯科見学の前 準備 振替日： 7月6日(水) 2時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科 医の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 社会人としてのマナーと態度を実施できる。 2. 診療室におけるマナーと態度を実施できる。 3. 医療スタッフ、患者と良好な関係がわかる。 4. 見学活動の振り返りができる。 【準備学修項目】 社会人としての対応ができる。 【学修場所・媒体等】 パソコン 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【 患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 卯田 昭夫 鈴木 浩司 小見山 道 黒木 俊一 浅野 隆 飯田 崇
2016/06/22 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/06/22 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・医療の 専門性⑤ 振替日：7月13 日(水) 7月13日(水) 1時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学 の専門性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学の専門分科について説明できる。 2. 臨床歯科医学の顎顔面外科学、再生歯科学、麻酔学について説明できる。 【準備学修項目】 医学の専門について説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ウ 治療の適応・選択 a 適応 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ア 局所麻酔法 ウ 全身麻酔法 エ 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬 10 その他の治療法 エ 凍結療法 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 セ 前癌病変、前癌状態 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ウ 歯槽骨骨折 カ 上顎骨骨折 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 ア 歯根嚢胞 14 顎関節疾患 サ 顎関節症 【コアカリキュラム】	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 近藤 壽郎 長濱 文雄 渋谷 文雄 浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/22 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2016/06/22 (水) 1時限 09:00~10:30 B	歯科医学・医療の 専門性⑤ 振替日：7月13 日(水) 7月13日(水) 1時限	A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *④患者に最も適した医療を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 近藤 壽郎 長濱 文雄 渋谷 鏡 浅野 隆
2016/06/29 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2016/06/29 (水) 1時限 09:00~10:30 B	体験学習②付属病 院見学 振替日： 7月13日(水) 2時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、学部の特 属病院医学の特徴を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 病院見学における適切なマナー・態度を実施できる。 2. 患者中心の病院の構造を説明できる。 【準備学修項目】 病院の基本的な構造を説明できる。 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク c 多職種連携 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 *②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、 歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制について説明し、 チームの一員として参加できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 小見山 道 黒木 俊一 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/07/06 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2016/07/06 (水) 1時限 09:00~10:30 B	平常試験 振替日： 7月20日(水) 1時限	【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 101教室	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 浅野 隆
2016/07/13 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2016/07/13 (水) 1時限 09:00~10:30 B	社会人マナー/松 戸警察による講話 振替日： 7月20日(水) 2時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、社会人と してのマナーを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 社会人としてのマナーを説明できる。 【準備学修項目】 大人の意味を説明できる。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 浅野 隆
2016/07/20 (水) 1時限 09:00~10:30 A 2016/07/20 (水) 1時限 09:00~10:30 B	体験学習③開業歯 科見学の共有化・ まとめ (1) 振替日： 9月7日(水) 1時限	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科 医の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 開業歯科医師の特徴を説明できる。 2. 開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 3. 開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。 【準備学修項目】 開業医を見学したポートフォリオをまとめる。 【学修場所・媒体等】 パソコン 【学修方略 (LS)】 演習	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 小見山 道 卯田 昭夫 鈴木 浩司 黒木 俊一 浅野 隆 飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/20 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/07/20 (水) 1時限 09:00～10:30 B	体験学習③開業歯 科見学の共有化・ まとめ(1) 振替日: 9月7日(水) 1時限	【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、 歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明し、 チームの一員として参加できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 小見山 道 卯田 昭夫 鈴木 浩司 黒木 俊一 浅野 隆 飯田 崇
2016/09/07 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2016/09/07 (水) 1時限 09:00～10:30 B	体験学習③開業歯 科見学の共有化・ まとめ(2) 振替日:9月7日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科 医の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.開業歯科医師の特徴を理解する。 2.開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 3.開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。 4.チーム医療の有意性を説明できる。 5.見学した内容を振り返ることができる。 【準備学修項目】 開業医を見学したポートフォリオをまとめる。 【学修場所・媒体等】 パソコン 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。	川良 美佐雄 伊藤 孝訓 小見山 道 卯田 昭夫 鈴木 浩司 黒木 俊一 浅野 隆 飯田 崇